

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大垣市			代表者名	市長 石田 仁
担当者部署(属性)	企画担当	担当者部署名	情報企画課	連絡先電話番号	0584-47-8249
担当者役職	主幹	担当者氏名	長谷川 大祐	連絡先E-mail	
住所	503-8601 岐阜県大垣市丸の内2-29				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	DX人材育成事業
概要	本市の希望職員に対し、DX機運醸成に向けたDX研修の講師をお願いしたい。		
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成）		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年10月11日	講演(実地)	12時00分	16時00分	
				活動時間（分）	240
2-2. 派遣場所	会場名	大垣市役所8階大会議室		最寄駅	JR大垣駅
	所在地	岐阜県大垣市丸の内2-29		最寄駅からの交通手段	公用車送迎

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	池田 昌人
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	DX機運醸成に向けて、民間企業の実体験を交えた思考プロセスの講義であり、公務員には斬新な研修であった。期待値、企画書、行動、想いの4区分ごとにポイントが整理された分かり易い内容であり、時折ゲーム要素を挟むことで参加職員が飽きることなく最後まで研修を受講することができた。DXは目的ではなく、業務フロー中の課題解決や政策・企画の実現等に資する手段である事を職員に認識させる必要があると考えており、BPRやフェルミ推定、効果分析表、5W1H等、有効性・妥当性の高い手法等を学ぶことができ、非常に有益な研修となった。
アドバイザーへの要望事項	次年度も派遣申請を検討しておりますので、正式申請の際はご高配ください。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】		合計人数	31人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	31	0	0	0

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	行政業務のDX推進に向け、全所属にDX推進マネージャー、DX推進リーダーを配置するとともに、大垣市DX人材育成計画を策定し計画的な育成に努めている。しかしながら、職員自身のDX意識は高いとは言えない状況であり、抜本的なDX機運の醸成が必要である。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DXの考え方や取り組み方等の知見・知識の習得を通じて、市役所全体のDX機運の醸成を図る。具体的には、所属のDXを具体的に推進・牽引していく「想い」を持つ職員の創出を図る。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	研修進行等事前打合せ及びDX研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> 事前打合せ：12:00～13:00 (研修準備含む) 研修時間：13:00～16:00 (3hr) 内容：DX機運醸成研修 (フェルミ推定、効果分析表、5W1H、期待値を超える企画・成果の創出等) 	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	研修スライドをスマホで撮影するスタイルであり、研修開始後は撮影している職員は少なかったが、研修が進むに連れ撮影する職員は多くなり、研修後の質疑も関連に行われるなど、受講者の意識改革に確実に繋がったと考える。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今回の研修は単にDXに留まるものではなく、全ての職員の仕事への意識改革に資するものと考えられる。 人事担当所属が実施する人材育成研修として組み込めるよう協議を進める。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	6時間の研修を3時間に凝縮して実施していただいたので、未学習の部分もあり、本研修の本当の達成レベル(期待値)に達していないと考えられる。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添のとおり	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 本アドバイザー派遣制度が非常に実効性の高い人材育成支援であることが分かったので、市DX人材育成計画に本制度の活用を位置づけ、計画的に活用できるよう、必要な改正について検討する。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	人口減少社会における持続可能な自治体運営に向け、DXの必要性、DX意識の改革等を目的としたDX研修の実施による職員のデジタルスキルやDX意識の向上を通じて、市民サービス及び内部業務のDXを推進し、地域住民の暮らしの質や利便性の向上を図る。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

